

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0484

(注)本稿は 2019 年 11 月 20 日から 22 日まで 3 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2019.11.26

前田 高行

世界競争力は米国 2 位、日本 6 位、UAE25 位:世界・中東主要国の競争力

(世界ランクシリーズその2 2019 年版)

目次	頁
1. 「世界競争力レポート」について	1
2. 世界と中東主要国の世界競争力ランク	2
3. 過去5回の順位の推移	2
4. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)	3

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第2回のランキングは世界経済フォーラム(WEF)が発表した「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report) 2019」により世界及び中東主要国の競争力について比較した。

* WEF ホームページ:

<https://www.weforum.org/reports/global-competitiveness-report-2019>

1. 「世界競争力レポート」について

「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report)」は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム」が2001年から毎年発表しているレポートであり今回で第19回目となる。第1回レポートの対象国は75カ国であったが、その後対象国は増え今回は141カ国となっている。

「世界競争力レポート」の総合的な競争力ランキングはコロンビア大学のザビエル・サラ＝イ＝マーティン教授が開発し2004年に導入された世界競争力指数(Global Competitiveness Index, GCI)が用いられている。GCIは競争力に関する12の分野をもとに設計されており、世界の国々のすべ

ての発展段階における競争力の全体像を示している。

12分野とは、①制度機構(Institutions)、②インフラ(Infrastructure)、③情報通信技術(ICT adoption)、④マクロ経済安定性(Macroeconomic stability)、⑤健康(Health)、⑥技能(skills)、⑦製品市場(Product market)、⑧労働市場(Labour market)、⑨金融システム(Financial system)、⑩市場規模(Market size)、⑪ビジネス・ダイナミズム(Business dynamism)及び⑫イノベーション力(Innovation capability)である。

本稿では世界の上位5か国(含、米国)に日本、ドイツ、韓国、中国、ロシア、インドの先進及び開発途上国6か国に加え、中東の主要国であるトルコ、エジプト、イラン、サウジアラビア、イスラエル及び UAE の6か国を取り上げて比較する。比較する項目は総合及び12分野のランク並びに過去5回の総合ランクの推移である。

(競争力世界1位はシンガポール！)

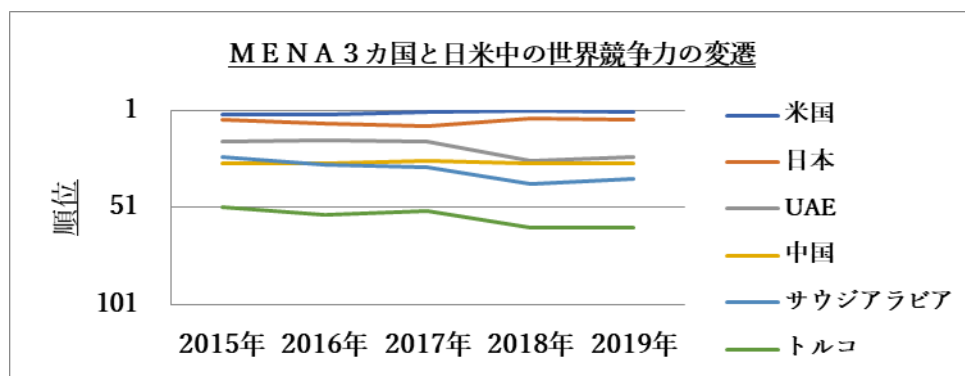
2. 世界と中東主要国の世界競争力ランク(末尾表 2-T01 参照)

世界141か国の2019年競争力ランクの1位はシンガポールである。同国は昨年の世界2位から今回トップに躍り出た。昨年1位であった米国はシンガポールと入れ替わりに2位に後退している。これら2か国に続き世界3位から5位までを占めているのは香港、オランダ、スイスの各国であり、香港は昨年の7位から大幅にランクを上げている。

日本は昨年の5位から1ランク下がり6位であり、昨年3位であったドイツが今回日本に次ぐ7位にとどまっている。その他主要な国を列挙すると、韓国13位(昨年15位)、中国28位(昨年と変わらず)、ロシア43位(変わらず)、インド68位(同58位)であり、インドのランク下落が顕著である。

中東の主要国ではイスラエルが20位であり、UAE が25位にランクされている。これら2か国から少し遅れてサウジアラビアが世界36位にランク付けされている。同国は昨年39位であり若干アップしている。中東の三大国であるトルコ、エジプト及びイランの中で最もランクが高いのはトルコの世界61位である。エジプト及びイランはそれぞれ93位と99位で、世界141か国の中では下位グループである。3か国のうちトルコ及びエジプトの世界順位は昨年と変わらないが、イランは昨年の89位から大幅に下がっており、米国の経済制裁の影響が大きく出ている。

3. 過去5回の順位の変遷(末尾表 2-T02 参照)



第15回(2015年)から第19回(2019年)までの競争力ランクの推移を見ると、スイスが2015年から2017年まで3年連続して世界1位であり、2018年、2019年は上述のとおりそれぞれ米国およびシンガポールがトップである。ちなみに世界最下位は2015年がギニア、2016、17年はイエメン、そして昨年、今年がチャドである。

国ごとに見ると米国は3位(15年)→3位(16年)→2位(17年)→1位(18年)→2位(19年)と常にベスト3以内に入っている。日本の場合は6位(15年)→8位(16年)→9位(17年)→5位(18年)→6位(19年)で5年間を通じてベストテンに入っている。ドイツも日本と同様4位(15年)→5位(16年)→5位(17年)→3位(18年)→7位(19年)と5年連続でベスト10位にとどまっている。

韓国は5年前の2015年には世界26位であったが、昨年(15位)、今年(13位)と急速にランクを上げている。中国は5年間を通じて27~28位であり順位が全く変わっていない。中国と並ぶアジアの大国インドの世界競争力の推移をみると55位(15年)→39位(16年)→40位(17年)→58位(18年)→68位(19年)と2016年以降世界ランクが下落し続け、今年(19年)は過去5年間で最も低いランクになっている。ロシアも2015年の45位から2017年には38位までランクアップしたが、その後は43位に下落している。

中東諸国の中で競争力があるとされる UAE、イスラエル及びサウジアラビア3カ国の場合、2015年の世界ランクは UAE17位、サウジアラビア25位、イスラエル27位の順序であったが、その後イスラエルが順位を上げる一方、産油国の UAE 及びサウジアラビアは競争力が低下しており、2019年の世界ランクはイスラエル20位、UAE25位、サウジアラビア36位となっている。

またトルコは2015年の51位から今回は61位にとどまっており、イランも5年前は世界140カ国中の74位であったが、今年(19年)は141カ国中の99位であり、世界の中心国から下位グループに転落している。トルコは EU との政治・経済関係が悪化しており、またイランは米国と鋭く対立していることが競争力低下の原因と見られる。これに対してエジプトは5年前は116位であり、トルコ或いはイランに比べ競争力がかなり劣っていたが、5年間連続してランクが上昇し、今回は93位でイランをしのいでいる。エジプトは2011年のアラブの春でイスラム政権に交代したが稚拙な経済政策により財政が悪化、それに伴い競争力も落ちた。その後、軍事強権政権により経済再建が進んだことが国際競争力のアップにつながったようである。

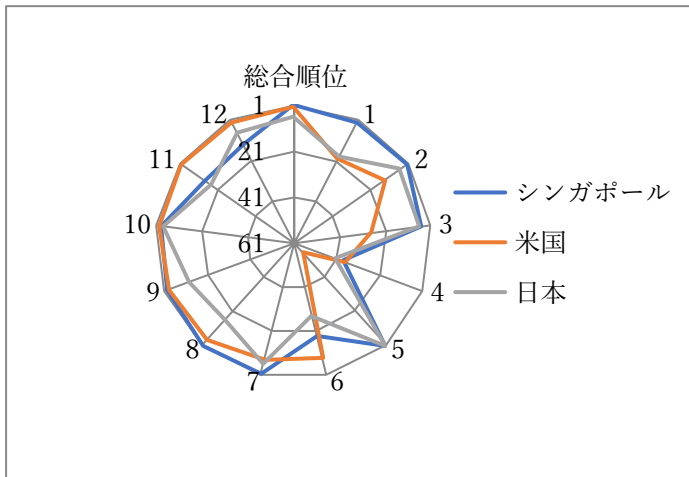
4. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)

冒頭に触れた通り世界競争力指数は「制度機構」から「イノベーション力」まで12の分野について世界140カ国を順位づけたものであるが、ここでは(1)シンガポール、米国、日本のトップグループ3カ国、(2)UAE、中国、サウジアラビアの世界20~30位グループ、及び(3)トルコ、エジプト、イランの中東の三大国、の3つのグループについて分野別の世界順位をレーダーチャートで比較する。

レーダーチャート図は最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界151位である。また最上段の総合順位以下時計周りの1から12の数字は各分野を示している。各分野の世界順位を結

ぶ輪が各国の状況である。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野で平均した競争力があることを示している。

(1) シンガポール、米国及び日本の比較



これら3カ国の総合順位はシンガポール1位、米国2位、日本6位である。シンガポールは12分野のうち(2)インフラ、(5)健康・医療、(8)労働市場の3分野で世界1位であり、その他(1)制度機構、(3)情報通信技術、(7)製品市場、(9)金融システム、(10)市場規模の各分野でも世界のベスト・ファイブに入っている。比較的世界ランクが低いのは(4)マクロ経済安定性の分野のみであり、ほぼ全ての分野で安定した高いラ

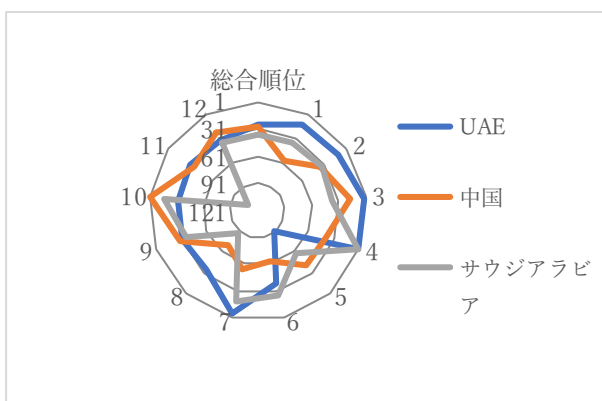
ンクである。

米国は12分野のうち7つの分野でベスト・テンに入っており、(10)市場規模、(11)ビジネスダイナミクス、(12)イノベーションの分野では総合世界1位のシンガポールを上回っている。同国の順位が低い分野は(5)健康・保健の世界55位であり、これは共に世界1位であるシンガポール及び日本と大きく異なっている。

総合6位の日本は(5)健康・保健分野が世界1位であるほか、(2)インフラ、(3)情報通信技術、(7)製品市場、(10)市場規模、(12)イノベーションの各分野が世界のベスト・テンにランク付けされている。一方、ランクが低いのは(4)マクロ経済安定性が世界42位である。

3か国に共通しているのは(10)市場規模の評価が世界2~4位と高く、それに対して(4)マクロ経済安定性が世界40位前後と比較的低く評価されていることである。

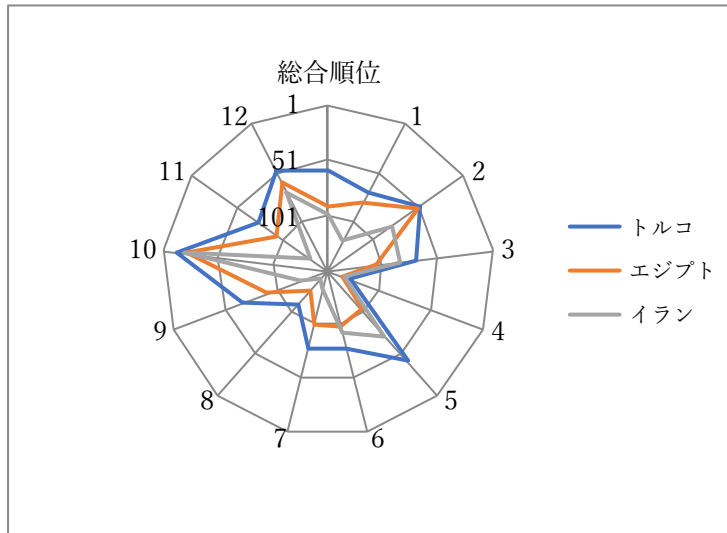
(2) 中国、UAE 及びサウジアラビアの比較



3か国の中では UAE の総合順位が25位と最も高く、次いで中国28位、サウジアラビアは36位である。3か国は(12)イノベーションの世界ランクが比較的近く(中国24位、UAE33位、サウジアラビア36位)、また(9)金融システムについても30位前後にランクされているが、その他の分野については格差が大きい。例えば(4)マクロ経済安定性では UAE 及びサウジアラビアが共に世界1位であるが、中国は

39位にとどまっております、一方(10)市場規模では中国は世界1位であるが、サウジアラビアは17位、UAE は32位である。また(11)ビジネスダイナミクス分野は UAE(31位)、中国(36位)に対してサウジアラビアは大きく差を開けられ世界109位にとどまっている。

(3)トルコ、エジプト及びイランの比較



中東の大国と言われるトルコ、エジプト及びイランの競争力ランクはそれぞれ61位、93位、99位であり、トルコは総合順位及び分野別順位のすべてでエジプトあるいはイランを上回っている。これら3か国は人口が8千万ないし1億人であり、サウジアラビア、イラクなどの周辺国を大きくしのいでいる。(10)市場規模分野のランクがいずれも20位前後と世界的にも高いのは人口規模によるものであるが、その他の

多くは世界50位以下であり、分野によっては世界100位以下のものも少なくない。

3か国で比較した場合、(4)マクロ経済安定性は3か国とも130位前後と世界最下位レベルである。(2)インフラ分野ではトルコ、エジプトが50位前後であるのに対しイランは80位である。(8)労働市場分野は3か国とも世界100位以下にランク付けされている。イランがエジプトを上回っているのは(3)情報通信技術、(5)健康・医療、(6)技能など分野が限られており、ほとんどの分野はトルコ-エジプト-イランの順である。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界競争ランキング

2019 年			2018 年		2019/2018 年	
世界順位	国名	スコア	世界順位	スコア	順位	スコア
1	シンガポール	84.8	2	83.5	1	1.3
2	米国	83.7	1	85.6	▲ 1	▲ 1.9
3	香港	83.1	7	82.3	4	0.8
4	オランダ	82.4	6	82.4	2	0.0
5	スイス	82.3	4	82.6	▲ 1	▲ 0.3
最下位 (141 位)	チャド	35.1	140	35.5		▲ 0.4
2	米国	83.7	1	85.6	▲ 1	▲ 1.9
6	日本	82.3	5	82.5	▲ 1	▲ 0.2
7	ドイツ	81.8	3	82.8	▲ 4	▲ 1.0
13	韓国	79.6	15	78.8	2	0.8
28	中国	73.9	28	72.6	0	1.3
43	ロシア	66.7	43	65.6	0	1.1
68	インド	61.4	58	62.0	▲ 10	▲ 0.6
	(中東主要国)					
20	イスラエル	76.7	20	76.6	0	0.1
25	UAE	75.0	27	73.4	2	1.6
36	サウジアラビア	70.0	39	67.5	3	2.5
61	トルコ	62.1	61	61.6	0	0.5
93	エジプト	54.5	94	53.6	1	0.9
99	イラン	53.0	89	54.9	▲ 10	▲ 1.9

世界競争カランクの推移

	第 15 回 (2015 年)	第 16 回 (2016 年)	第 17 回 (2017 年)	第 18 回 (2018 年)	第 19 回 (2019 年)
世界 1 位	スイス	スイス	スイス	米国	シンガポール
日本	6	8	9	5	6
米国	3	3	2	1	2
中国	28	28	27	28	28
ドイツ	4	5	5	3	7
韓国	26	26	26	15	13
ロシア	45	43	38	43	43
インド	55	39	40	58	68
世界最下位	ギニア	イエメン	イエメン	チャド	チャド
(中東主要国)					
イスラエル	27	24	16	20	20
UAE	17	16	17	27	25
サウジアラビア	25	29	30	39	36
トルコ	51	55	53	61	61
イラン	74	76	69	89	99
エジプト	116	115	100	94	93
調査対象国数	140	138	137	137	140